

そよかぜにも新しい春が訪れました。

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第129号

発行2017.4.16
年4回発行



社会福祉法人そよかぜ

羽村市栄町3-3-1

☎042-578-0855

fax.042-578-0466

そよかぜだより

役員及び評議員の改選が行われました

任 期満了に伴う役員及び評議員の改選が行われ、下記の方々が選任されました。今回の改選事務は、社会福祉法人制度改正に基づくもので、理事、監事については、本年3月7日から6月に開催される定時評議員会までが任期となり、この定時評議員会にて改めて制度改

正後の新定款による改選が行なわれます。任期は2年です。また、評議員については、新定款による評議員選任・解任委員会が選任し、任期は平成29年4月1日から4年となります。

社会福祉法人そよかぜ役員

理事長

野崎功市

副理事長

加藤照夫

理事

臼井信行

田村義明

田口尚子

堀内政樹

監事

羽村義男

石田 茂

評議員

井上克巳

川津紘順

橋本唯隆

水上京子

橋本芳明

羽村富男

川村孝俊

下田忠男

栗原悦男

田村志津子

評議員選任・解任委員

増田常夫

雨倉久行

羽村義男

石田 茂

野口晋一

そよかぜ評議員選任・解任委員会が設置されました

本 紙の事業計画概要でもふれますが、今回の社会福祉法人制度改革により、いままで理事会の諮問機関であった評議員会が「経営の基本方針に係る議決機関」となり、従来は理事会で行っていた評議員の選任及び解任事務を担当する、新たな組織「評議員選任・解任委員会」を設置することが義務付けられました。これを受けて、当法人でも去る3月7日付で「社会福祉法人そよかぜ評議員選任・解任委員会」（以下、委員会という）が設置されました。委員会は、外部委員2名、監事2名、事務局員1名の合計5名で構成されます。外部委員には、前そよかぜ理事の増田常夫氏と羽村市社会福祉協議会事務局長の雨倉久行氏が就任しました。お二人は地域の行政経験者であり、障害者福祉への造詣も深く、外部委員をお願いしました。監事及び事務局員には、当法人の羽村義男監事、石田茂監事、野口晋一総務主任がそれぞれ就任しました。本委員会は、3月13日に初会合が開催され、平

成29年4月1日からの新制度に基づく評議員10名が選任されました。



写真下段左から増田委員、羽村委員長、雨倉委員、上段左から野口委員、石田委員。

平成29年度事業計画概要

本年度から、「社会福祉法等の一部を改正する法律」（以下、改正法という）が施行されることに伴い、そよかぜは昨年末に定款の変更を行い、今年度から改正法に基づく法人運営が始まりました。今までと大きく変わるところは、経営組織のガバナンス（統治）強化を受けて評議員会が従来の諮問機関から議決機関となることで法人経営へのチェック機能が強化されるとともに、評議員の選任・解任に際しては法人監事及び外部委員などからなる「評議員選任・解任委員会」を設置することが義務付けられるなど、評議員の選任に際しての公正性の強化も図られました。それ以外にも、様々な改正項目等がありますが、法令遵守の原則に従って着実な法人運営に努めます。また、年来の主要課題である福祉作業所スマイル工房の新築移転計画は、施設建設費等に対する国の補助金制度が適用される見通しとなり、本年度は、計画実現に向けた具体的な作業を推進します。

社会福祉事業

福祉作業所ひばり園（就労移行支援＝定員6名）

一般就労を希望する65才以下の知的障害者に、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練等を提供します。支援業務の標準化、情報共有のための新たな仕組みづくり、職場定着支援の強化などに取り組みます。

福祉作業所ひばり園（就労継続支援B型＝定員70名）

障害者に就労や日中活動の機会を提供し、地域での自立した生活を支援します。多様化する利用者ニーズに対応するため、新たなプログラムや支援方法などに積極的にチャレンジします。

福祉作業所スマイル工房（就労継続支援B型＝定員20名）

具体化する新施設計画に伴う事前準備を本格的に開始するとともに、現在の支援業務のさらなる充実を図ります。授産活動に関するコスト意識をしっかりと持って効率的な業務遂行を図るとともに、利用者及び職員の健康維持・増進に努めます。

指定特定相談支援事業所ゆい

相談利用者にとってよりわかりやすいサービス提供ができるように、さらなる業務改善を図ります。また、関係諸機関との連携・協力を進め、地域の障害者福祉の現状や課題をしっかりと把握し、より適切できめ細かなサービス提供に努めます。

公益事業

羽村市障害者就労支援センター エール

障害者の一般就労の機会拡大を図るとともに、障害者が安心して働き続けられるよう支援します。本年度は、羽村市役所庁舎内において市内障害者の職場体験実習を実施する予定です。この実習を有効かつ継続的なものとするための準備や関係機関との連携等を着実に進めます。

収益事業

資源回収

羽村市が掲げる資源リサイクル推進の方針に沿って、ボランティアと協働して古紙を中心とする資源回収事業を行います。老朽化した業務車両の更新を行い、事業の一層の充実を図ります。本年度も、地域の皆様のご支援を力とし、また、羽村市行政当局及び関係諸機関との連携・協力など引き続きしっかりと行い、地域の障害者福祉の発展増進に努めます。

平成29年度 社会福祉法人そよかぜ当初予算額

法人総支出額

¥219,007,000

※内部取引調整後の値

社会福祉事業

総支出額 ¥191,926,000

公益事業

羽村市障害者就労支援センター エール

総支出額 ¥22,599,000



◆法人本部
¥1,179,000

♠福祉作業所ひばり園
（就労移行支援）
¥15,938,000

♥福祉作業所ひばり園
（就労継続支援B型）
¥142,368,000

収益事業

資源回収

総支出額 ¥4,482,000

♣福祉作業所スマイル工房
¥30,347,000

☆指定特定相談支援事業所ゆい
¥2,094,000

新年度を迎えて 各事業所の抱負



左 毎週行っている公園清掃。
下 羽村の堰でのお花見。



福祉作業所ひばり園 就労移行支援事業

就労移行支援の利用期間は原則として2年となっています。一般就労に向けて、働くために必要な訓練や作業を行っています。昨年度は4名の方が一般企業へ就職することができました。

今年度は新たに4名の利用者が加わり、にぎやかな雰囲気です。

主なスケジュールとしては、1年目の方には、楽しくひばり園に通うことができること。そして作業や生活のメリハリを付けながら、まずは働くために必要な力やマナーを身に付けていきます。

2年目の方には、いよいよ就職をする年となります。ひばり園での活動のみならず、企業実習の機会や面接会への参加などを通して、自己理解と就労への意欲の向上の機会としていきます。今年度も一般就労に向けて利用者の方々の自信にあふれた笑顔がたくさん見られるよう、職員一同頑張っていきます。



左から、坂内さん、平井さん。休憩中の様子。

福祉作業所ひばり園 就労継続支援B型事業

坂内さんより

去年ひばり園に入所した坂内亮太です。1階でベアリングのローラーを入れる作業や部品の個装などを行っています。目標は就職ができるようひばり園に入りました。ひばり園では生活リズムを整え作業開始時間10分前に来るようがんばります。

平井さんより

今年の目標は、通常通り作業をがんばることと共に、イベントの回数をなるべく多く参加し、ショッピング(例えばモールなど)楽しいことが大好きな平井 豊です。私は今年度で入所5年目を迎えます。あおぞら所属で友達と仲良くいることが大切です。



上 2階作業室のみなさんは、羽村の堰でお花見をしました。
下 1階作業室のみなさんは、近くの富士見公園でお花見をしました。



ふきんの刺し子作業。

リサイクルショップくれよん 就労継続支援B型事業

4月で6周年を迎えます。商品値付け・みがき・アイロン・縫い物など作業種類が増え、自分が携わった商品が売れると誇らしげに報告があり、自信に繋がっています。人気の高い「縫い物」作業は数人から始まり、今では全員が取り組んでいます。



ポプリ(50円)、コースター(100円)、ふきん(150円)店内販売中。

今年度は「もっと接客をしたい」という利用者からの希望もありますので、商品などの受け渡しを通じて、お客様をより近くに感じられる一年にしたいと考えております。



左上 衣類箱入れ作業。
左 衣類値付け作業。
上 市指定ゴミ袋折り作業。



左 バン成型作業。右 イヤホンリフレッシュ作業。

福祉作業所スマイル工房 就労継続支援B型事業

今年度はいつもと違って「施設の新築移転工事」に向けた準備が本格的に動き出すなか、新年度のスタートを切ることになりました。新たな地でどのような活動を展開するかを目標に、しっかりとした構想を練り上げ、そのために必要な準備として、行政や関係機関等のご協力を得ながらすすめていきます。一方、日々の作業活動やレクリエーション活動では、さらに活動内容の工夫を加えることで、利用者の力をさらに引き出せるよう支援していきます。また、利用者の障害特性は多様化しており、支援力の向上が求められています。職員自身も心身の健康に留意しながら質の高い支援ができるよう心がけていきます。



上 スポーツレクリエーション(ボウリング)。中左 宿泊訓練でのトンボ玉作り。中右 事業所交流会での出店。下左 レクリエーション(芋ほり)。下右 合唱祭に向けて歌の練習。



学習会の講師、川村孝俊氏(当法人評議員)。

指定特定相談支援事業所ゆい 相談支援事業

今年3年目を迎えた当事業所は、試行錯誤しながらようやく軌道に乗ってきました。計画相談の業務を行いながら、昨年と今年の2回にわたり、利用者や保護者の皆様に成年後見制度についての学習会を開催しました。今年度も地域で安心した生活を送れることを目的にご本人やご家族などにとって役立つ学習会等のプログラムを企画していきたいと考えています。

また、ゆいの業務では、サービス等利用計画(案)書やモニタリング報告書といった書類が必要になります。利用者や保護者の皆様が難解でわかりにくい言い回しなどが多用されていたことを踏まえ、理解しやすい表現や説明に心がけ、計画(案)書や報告書を「ゆい」独自のわかりやすい書式にできるよう研究と改善に努めていきます。今後も、関係機関と連携しながら課題解決に向けて適切なサービスが提供できるよう取り組みます。

羽村市障害者就労支援センター エール

今年度に予定されている新しい取り組みとして、羽村市役所での職場実習についてご紹介いたします。エールは市役所実習の準備や実施等を担当します。実習の対象になる方は、羽村市内在住の障害のある方で、就職を希望している方や就職を考えている方になります。実習では、市役所の職員の方が行っている仕事の一部を実習生の仕事として行います(補助的な軽作業)。企業で働いたことのない方や経験の少ない方、あらためて就職をめざす方にとって、実際の職場で働いてみる(市役所での職場体験)で、働くことのやりがいや責任などを肌で感じることで

良い機会になると考えています。また社会で働くために身につけておきたいことなど、気づくこともあるかも知れません。数日間の実習という小さな試みですが、やり終えた後に少しでも多くのものが得られるようにエールはお手伝いさせていただきます。



エールの春。チューリップの芽が今年はたくさん出てきました。

資源回収事業

日頃より、地域や企業の方々には資源回収にご協力いただきまして誠にありがとうございます。当事業では、施設の車を使って頼もしい利用者と一緒に古新聞や古雑誌、段ボールなどの回収作業を行っています。通所の施設ですと、利用者は近隣地域で暮らす方が主なため、地域の方々に関わる大事な機会になります。利用者の方が地域で安心した生活を送るためには、いろいろな人とのかわりや切っても切れない関係です。人と人とのつながりは挨拶から始まります。そのため昨年度、資源回収に携る利用者を対象に交通安全と挨拶などのマナー学習会を行いました。また、作業を行っている際、回収先の方々が新聞などを持ちやすいように束ねてくださっている心づかいを感じることがあります。それは相手を思いやる気持ちを養う機会にもなります。「前工程は神様、後工程はお客様」の精神を大切にし、利用者と共に励んでいきたいと考えています。



春の門出

皆様もご存知の宮沢賢治の「雨ニモマケズ」は、モデルになった人がいたという説があります。そのモデルになったという人は、斎藤宗次郎という方で、もともとは小学校の先生をしていました。当時は日露戦争のさなかで、非戦の思想を子供たちに教えたことから、教師の仕事を追われることとなります。当時は非戦の思想は受け入れられない時代でもあり、そのことから迫害を受け孤立した生活を

送ることになります。しかし、彼は信念を貫き、新聞配達で重い荷物を担ぎながら、人々の苦しみや悲しみに寄り添い配達を続けました。同郷の賢治とも交友があり、ひた向きな宗次郎の姿が「雨ニモマケズ」として残されたのではないかとされています。

春は、新入学や新社会人の門出でもあります。そよかぜでも新しい利用者や職員を迎え、新たな顔ぶれでスタートし

コラム「福祉の時をつかむ」

ました。一年で最も変化の多い時期でもあります。新しい環境に慣れるまでには、普段と違った労力を要します。時には、新しい環境で迷うこともあろうかと思えます。

この「雨ニモマケズ」は私の拠りどころでもあります。宗次郎のように自分の信じる道を歩んでいきたい。そして、周りの人にも、そうあって欲しいと思えます。

そよかぜホームページ <http://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

新年度を迎え、今年もフレッシュな仲間が入りました。18歳～72歳、77人で出発です。いろいろな人と出会い、折り合いが付けられるようになるまで、一緒に過ごしながらの大切な経験です。一回りも二回りも成長していく姿を今年も隣で見たいと思います。

リサイクルショップくれよん

リサイクルショップはおかげさまで6周年を迎えました。4月17日(月)～21日(金)に、6周年記念全品半額セールを行ない



ます。ぜひ、お立ち寄り下さい。皆さまのお越しを、くれよん一同心よりお待ちしております。



福祉作業所スマイル工房

5月に予定している西多摩フレンド交流会の合唱祭に向けて、歌の時間に練習

をしています。スマイル工房では「未来へ」(Kiroro)他2曲を歌う予定です。季節のクッキーは春らしく、サクラやチュウリップの形のクッキーを販売中です。今回は、クッキーに「HAPPY」や「SMILE」のメッセージスタンプを押して新バージョンにしていますので、どうぞよろしくお願ひします。羽村市農産物直売所とリサイクルショップくれよんで、不定期でお買い求めいただけます。

障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間：月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。※ご相談は予約をお願い致します。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

新年度になり、本紙も装いを新たに(?)写真をフルカラー印刷にしました。施設内の様子が、より生き生きと伝わるようになったかと思えます。さて、新年度号の本紙、いかがでしたでしょうか。年度末年度初めの事務作業と並行しての編集作業になり、ミスがないか、印刷所への入稿が終わり、印刷された本紙が届いてもドキドキしてしまいます。作業ごとに頭の中を切り替え、いつもどんなことにも視野を広く持ち、冷静に対処できるように努めたいです。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局	☎042-578-0855
福祉作業所ひばり園	☎042-555-5512
福祉作業所スマイル工房	☎042-578-2723
リサイクルショップくれよん	☎042-578-2575
羽村市障害者就労支援センター エール	☎042-570-1233
指定特定相談支援事業所ゆい	☎042-555-5512